

# 乳がん検診

乳がん検診には、「視触診」、「マンモグラフィ検査」、「乳房超音波検査（マンマエコー検査）」の3種類があります

## ◆視触診

上半身の衣服を脱いだ状態で行います。

乳房やわきの下にしこりがないか、乳房の変形や皮膚の変化、乳頭から分泌物がないかなど、医師が観察し直接乳房に触れて異常の有無を調べます。

## ◆マンモグラフィ検査

**特 性** しこりとして手に触れるようになる前の小さい腫瘍や、微細石灰化を発見することができます。



**対象者** 乳腺組織が多いと影が写りにくいのですが、加齢とともに乳腺の密度が減少し、しこりや病巣部が写りやすくなるため、40代以上の方に推奨とされています。妊娠中、授乳中、豊胸手術、ペースメーカーの方はできません。

**手 順** 検査は乳房をはさみながら圧迫して撮影します。検査自体は10分程度かかりますが、乳房を圧迫している時間は10秒くらいです。

## ◆乳房超音波検査（マンマエコー検査）

**特 性** しこりとして手に触れるようになる前の小さいしこりや、その性状が詳しくわかります。

**対象者** 乳腺密度が高い20代、30代の方に推奨とされています。妊娠中や授乳中でも検査はできます。



**手 順**

- ・乳房にゼリーを塗り、プローブをあてて内部を観察します。
- ・検査する側の腕を頭側に上げた状態で検査します。
- ・検査時間は15分ほどです。